

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1136
施設名	きたひだまり保育園
施設所在地	国立市北3-4-2-1
法人名	社会福祉法人国立保育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

感触 1歳児「粘土②」どんな感触の粘土かな？ 柔らかいかな？ 伸びるかな？

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

興味を持った子から自由に参加できるよう、粘土を伸ばしたり丸めたりする様子を見せていた。日頃から感触遊びを行っていたため、更にいろいろな素材に触れることで、興味の幅が広がればと思い設定する。

活動スケジュール

令和6年11月～令和7年3月まで

子どもが自発的に〇〇したい！やってみたい！と言う要望があったときや雨天時、日中の活動の中で子供の様子を見ながら行っていく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・前回遊んだ粘土とは違い、やわらかい・伸びる・色がついている粘土を用意した。
- ・遊びのイメージが広がるように3色の色の粘土を用意する。
- ・ローラーやピザカッター、へらなどの道具

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

粘土をこねたり切ったりし、粘土の感触を確かめてみる。
型抜きをしたりして見立て遊びを楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・触ってみるとすぐに「うわぁ～」と声が上がったり、「こねこね」と言いながら触ったり、
「ビヨーン」と言って伸ばしていた。切れてしまうと「あっ」と声を出していた。
- ・ままごとコーナーにフォークやお皿を取りに行き、友達にも渡してあげる姿が見られた。
- ・ピザカッターを使った遊び方や作ったものを「ハンバーグ」「ピザ」など何かに見立てて保育者に伝えていた。嬉しそうにいろいろな保育者のところへ見せに行く。
- ・「丸くしてほしい」とか、「クッキー作るの欲しいよ」など、思いを伝えながら遊ぶ様子が見られた。
- ・細長い形のを渦状に巻いて「かたつむり」と見せてくれ子もいた。
- ・出来ると「ジャジャーン」「見て見て、クッキーどうぞ」と作ったものでやり取りをしたり
出来たものを友達と見せ合って楽しむ様子も見られた。

写真は園ホームページ→アルバム→すくわく

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・前回に比べると作ったものを何かに見立てる様子が多くみられ成長を感じた。
- ・興味のなかった子も誕生日のケーキを作ってハッピーバースデーを歌うと嬉しそうにやってきて、その後座って粘土を触ろうとする様子が見られた。
- ・作ったものを食べ物に見立てる様子が多く見られたのでフライパンを置くと、焼く真似をしたり「熱いよ」と話すなどイメージを広げて遊ぶ様子が見られた。
- ・大切そうに別の場所に持ち歩く姿が見られたので、箱のようなものがあると、イメージを広げられたのかもしれない。
- ・違う色の粘土を混ぜて見せると「ぼくも」と興味を示していた。色々なものを一緒に作ったり、声をかけながら遊びを見せていく事で、子どもの興味関心を引き出せると感じた。